

紹介



新田ノ目の
行政区長さんが
新たに選任され
ましたので、
ご紹介します。

須藤 誠一 さん

5月の乗車人数
179人 (-3)
5月の乗車率
13.3%

☆くるくる号ニュース☆

くるくる号を予約する前に
下記のことを確認してください

☆会員番号 ○○○○○○
☆利用する日 ○月○日
☆行き の 便 ○時便でどこから
どこまで行くか
☆帰り の 便 ○時便でどこから
どこまで行くか

くるくるちゃん



議会報告・意見交換会の開催

市民の皆様には議会活動等をわかりやすく報告するとともに、政策提言や今後の議会改革に生かすために、議会報告・意見交換会を開催いたします。

田尻地域では下記の日時で開催しますので、ぜひご参加ください。申し込みは不要で、どの会場でも参加できます。

月日	時間	場所	議員
7月18日(水)	19時～	田尻地区公民館	田尻地域の議員をはじめ、議会運営委員と各常任委員の5～6人で伺います
7月25日(水)	20時30分	大貫地区公民館	

- ◆内 容 ①議会からの報告
②市民との意見交換

テーマ：「議会に何を望むか」「人口減少が進む中での地域経済活性化について」

【問い合わせ】議会事務局 議事調査担当（電話 52-5838）

オレンジカフェに参加しませんか？

気軽にお茶を飲みながら、認知症に関する情報交換をしたり、経験者の話を聞いたり、日頃の悩みを打ち明けたりできる憩いの場に参加してみませんか。参加は無料です。

- ◆日 時 7月4日(水) 10時30分から ◆場 所 大貫地区公民館

【問い合わせ】田尻地域包括支援センター（電話 39-3601）

～ぼうさい information～

7月号のお知らせは、熱中症になってしまった場合の応急手当についてお話します。そもそも熱中症は、どんな人がなりやすいか？ 紹介しますと、高齢者、小児に多く発生しています。高齢者は体温調節機能が低下しているため、体に熱がこもりやすくなり、暑さや喉の渇きを感じにくくなるなどの原因が上げられます。小児は体温調節機能が未発達であり、汗をかく機能が未熟なため体に熱がこもりやすく体温が上昇しやすいのです。また、自分で水分補給ができない、服を脱ぐなどの暑さ対策ができないことも熱中症への危険を高めます。熱中症に対する応急手当としては、①涼しい場所へ移動し衣服を緩め、安静に寝かせる。②エアコンや扇風機、うちわなどで風を当てて体を冷やす。③飲めるようであれば水分を少しずつ取らせる、などを実施してください。

ただし、自分で水分補給ができない・脱力感や倦怠感が強く動けない・意識がない・全身のケイレンが見られた時は、直ぐに救急車を呼んでください。次回では、台風についてお話します。

【問い合わせ】古川消防署田尻分署（電話 39-0630）